

平成28年3月7日

只見町議会議長 齋藤 邦夫 様

広報広聴常任委員会委員長 石橋 明日香

広報広聴常任委員会所管事務調査報告書

本委員会の所管事務調査事項について、調査経過並びに結果を下記のとおり報告します。
記

1. 所管事務調査事項

- (1) 議会広報広聴の充実に関する調査
- (2) 議会報告会並びに一般会議に関する調査
- (3) 議会だよりの編集及び発行に関する調査
- (4) 議会の開かれた情報発信の調査研究

2. 調査の経過及び結果

- (1) 調査事項 議会広報広聴の充実に関する調査
議会だよりの編集及び発行に関する調査
議会の開かれた情報発信の調査研究
- (2) 調査方法 事務調査
- (3) 調査日 12月14日、12月15日、12月17日、12月18日
1月8日、3月2日
- (4) 出席委員 石橋明日香委員長、小沼信孝副委員長、山岸フミ子委員
大塚純一郎委員、中野大徳委員、目黒仁也委員

3. 具体的な取り組み内容

(1) 調査等経過

- 12月14日 議会だより142号編集計画・役割分担について検討協議
- 12月15日 議会だより142号の編集内容について検討協議
議会一般会議結果のとりまとめ
- 12月17日 議会だより142号の編集内容について検討協議
- 12月18日 議会だより142号の編集内容について検討協議
- 1月 8日 議会だより142号の最終校正
- 1月22日 議会だより142号発行
- 2月 5日 第30回町村議会広報全国コンクール入賞
「言語・文章部門」奨励賞
- 3月 2日 議会の日程や一般質問の内容周知のためのチラシ作成
議会だより143号の編集計画について検討協議
- 3月 4日 議会の日程や一般質問の内容周知のためのチラシ発行

(2) 議会報告会並びに一般会議に関する調査

昨年11月から12月にかけて4回開催した一般会議では、町内各種団体から様々な発言や提案をいただき、充実した内容の会議となった。特に今回は、普段なかなか機会の少ない若者との意見交換もすることができ、非常に有意義なものとなった。

今後担当委員会として、町民と議会との意見交換の機会をより多く持てるよう積極的に町内各種団体等に呼びかけ、町政発展への提言ができるよう努めていきたい。

今年度は、試みとして一般会議という形で期間を限定した意見交換の場を設け、形式的で面白みのない場となりやすかった議会報告会の方向性を模索した。今後の議会報告会と一般会議の開催のあり方について度重なる協議をした結果、現時点では、議会報告会はあくまでも議会報告会として少なくとも年1回は開催する方向性は維持しつつ、それとは別に、町民との意見交換の場は非常に有意義かつ必要なことから、一般会議を期間限定とせず通年募集の形とし、町内各種団体からの申し込みがあれば随時開催する方向で検討中だ。

(3) 議会だよりの編集及び発行に関する調査

議会だより142号については、12月会議終了後、年末年始を挟む中での編集作業となったが、各委員並びに議員等の協力により、遅延することなく議会終了後の翌月発行ができた。町民にとって分かりやすい内容の広報誌作成に鋭意取り組んでいるが、限られた字数の中で語弊なく伝えるため、その表現方法に苦慮する部分も多々あるのが現状である。

今年度、町村議会広報全国コンクールで奨励賞を受賞できた。当初から当該コンクールにおいて入選することを一つの目標として改善に鋭意取り組んできたため、こうした形で客観的に評価していただけたことは非常に喜ばしく、多大なる努力を重ねてきた委員を労うものである。また、委員の努力のみならず、関係者各位や議会だよりに関心を示していただいている町民の声があればこそその賜物と思っている。これを励みに、今後もより良い議会だより発行に努めたい。

以上